

健康に関する世論調査について

目的・概要

主観的健康感やこころとからだの健康づくり、飲酒の習慣、喫煙など、都民の心身の健康と健康づくりに関する意識を把握し、「東京都健康推進プラン21（第二次）」の最終評価に資するとともに、次期計画の策定及び都民の健康づくり施策を推進する際の参考とする。

調査設計（前回の平成28年調査時）

- 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- 標本数：3,000標本（回収率6割程度）
- 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- 調査方法：調査員による個別訪問面接聴取法
- 調査期間：令和3年6月もしくは同年9月の2週間程度
- 調査実施方法：委託により実施

※ 次年度実施の場合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、標本数や調査方法等に変更が生じる可能性がある。

調査項目（案）

- 1 こころとからだの健康づくり
（主観的健康感、健康への関心、こころの健康、休養）
- 2 飲酒の状況
- 3 喫煙の健康への影響と受動喫煙
- 4 健康情報の収集等

※ 詳細は、
資料6-2参照

計25～30問程度

調査項目の検討

- 設問の検討は、東京都健康推進プラン21（第二次）推進会議及び同施策検討部会において議論・共有しながら進めていく。
- プラン21（第二次）の指標に使用する設問や指標評価の際の現状分析等に必要と考えられる設問は、原則変更しない。
- その他の設問については、国の動向や社会状況の変化等を踏まえつつ、必要に応じて差し替えまたは追加を検討する。